

## 5月28日(日) 第二礼拝 「五旬節と収穫」レビ23章15～16節

聖書には7つの祭りがあります。それは、神様が人間を救うために定められた時であり、神様の祭りです。祭りを通して、神様のなさろうとすることを私たちに教えてください。

第一番目、五旬節は、7つの祭りの1つです。春の祭りには、過越の祭り、種なしパンの祭り、初穂の束の祭りがあり、イエス様の初臨(イエス様の十字架と復活)に関係します。秋の祭りは、ラッパの祭り、贖罪の祭り、仮庵の祭りで、イエス様の再臨と関係があります。五旬節(ペンテコステ)は、これらの祭りのちょうど中間に位置し、種なしパンの祭りから50日目にあたります。五旬とは50という意味で、ギリシャ語ではペンテと言います。この時に小麦を刈り取りますが、これは魂の収穫を意味します。このペンテコステを通して3000名が救われ、教会が誕生しました。旧約では、この五旬節の時にシナイ山で律法(十戒)が与えられましたが、民は律法を守らず偶像を作ったために、3000名が死にました。人間には罪の習性があるので、人間の力では律法を守ることができないのです。

第二番目、聖霊様が来られると、私たちの自我は死に、神様が生きるようになります。ガラテヤ2:20「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私の内に生きておられるのです。」聖霊様が臨むと、私たちが死んで、キリストが生き、私たちの内で律法を守り行わせてくださいます。Ⅱコリント10:5「あらゆる高ぶりを打ち砕き」高慢な自分が死ぬのです。更に、神様に会すると、病気や呪いは死に、悪霊は出て行き、代わりに、アブラハムの祝福が私たちのものとなります。私たちは聖霊様と共に生き、交わり、一つの霊となります(Ⅰコリント6:17)。神様と私たちは一心同体となり、自己中心的な生き方からイエス様中心の生き方となるのです。また、聖霊様が来られると、私たちに真理の御言葉を教え、私たちの良心に働きかけ悔い改めに導いてくださいます。ダビデは、自分を殺そうといつも狙っていたサウルを殺すチャンスがあったにも関わらず、自ら手を下しませんでした。そして、ダビデはサウルの上着の裾を切り取ったことについて心を痛めました(Ⅰサムエル24:1-6)。このように、聖霊様は十戒が守られるように、私たちの良心に働きかけてくださるのです。律法を守る時、神様の宝となり、祭司の王国となります(出エジプト19:5.6)。そのような祝福(報い)が私たちに臨みます。神様が私たちの内で律法を行ってくださり、その報いを人間に与えてくださる、これは素晴らしい恵みです。

第三番目、聖霊様を受けると力を受けます(使徒の働き1:8)。その力とは王権です(ルカ22:29)。イエス様が洗礼を受けた時、聖霊が鳩のように臨み、荒野で40日断食してサタンに打ち勝ち、公生涯が始まりました。ルカ4:18捕らわれ人を赦免し、盲人の目を開け、しいたげられている人を自由にする、このイエス様が持つておられた王権を私たちにも授けてくださいました。私たちの自我が完全に死に、イエス様が生きて、御霊に満たされて、私たちはこの王権を使い、エルサレム、ユダヤとサマリヤ全土、および地の果てにまで(福音の始めであるエルサレムにまで戻り)、福音を宣べ伝える証人となるのです。アーメン！